

(参考情報) 韓国農林畜産食品部公表情報

農林畜産食品部プレスリリース (2015年10月21日9時00分)

口蹄疫、HPAIなど国家災難型動物疾病の予防のための韓国-ロシア共同研究の強化

- 韓国 - ロシア動物疾病の共同研究のための技術協議会の開催 -

出典URL:

http://www.maf.go.kr/list.jsp?&newsid=155447330§ion_id=b_sec_1&pageNo=1&year=2015&listcnt=10&board_kind=C&board_skin_id=C3&depth=1&division=B&group_id=3&menu_id=1125&reference=&parent_code=3&popup_yn=&tab_yn=N

(機械翻訳等に基づく仮訳)

農林畜産検疫本部は、口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザ (HPAI) など国家間の伝播が起りうる動物疾病の予防のための国際協力を目的として、「韓国 - ロシア連邦動物疾病の共同研究のための技術協議会」が、2015年10月22日にロシア連邦動植物衛生監督庁 (FSVPS) で開催されると述べた。

○これまで、農林畜産検疫本部は、口蹄疫、HPAIなど国家災害型疾病が繰り返し発生したことをうけ、周辺国との協力体系構築の必要性を認識し、中国、日本、モンゴル、ベトナムなどアジア周辺国との共同研究を行い、国際協力を行う地域の拡大に努めてきた。

○今回の技術協議会は、韓国側からのロシア連邦への共同研究の提案を、ロシア連邦動植物衛生監督庁が受け入れたことで実現した。

◆国家間の伝播が起りうる動物疾病に関連する共同研究推進のための技術協議会の推進の経緯

○韓国首席獣医官 (CV0) を通じた韓国 - ロシアの共同研究の提案 (2014年3月)

○第2回韓国 - ロシア農業協力委員会 (2015年5月、モスクワ)

動物疾病分野の協議

- ロシア側、「動物疾病の共同研究技術協議会」開催について提案

○韓国、技術協議会の開催合意について覚書 (MOU) を締結 (2015年8月)

○ロシア側、意向書 (Protocol of Intention) 締結の提案と、韓国代表団のロシア訪問の際の意向書の締結及び技術協議会の開催に合意 (2015年10月13日、ロシアの訪韓に伴う二国間会議)

今回の技術協議会には、韓国代表団として、ベク・ジョンホ動植物研究部長を首席代表とし、動物疾病の研究実務担当者など計5人が出席する。

○韓国における口蹄疫とHPAIの発生状況及び研究成果などを紹介し、今後推進される共同研究の方向と各機関の役割について、詳細を議論する予定である。

○今後、両国代表団は協力に関する意向書締結により、両機関の協力体制を強固にする計画である。

今回の技術協議会では、ロシアの動物疾病管理・研究を担当する最高機関である動植物衛生監督庁と両国の動物疾病研究機関の間の協力のための意向書（Protocol of Intentions）を締結する予定である。